

わくワクとど塾
～高齢者疑似体験～



体験セットを装着して活動中！



携帯電話でアクセス

飯山市社会福祉協議会 介護保険事業の様子

飯山市社会福祉協議会
介護保険事業所では、住民、
利用者のために様々な事業
を行っています。

6月30日には、瑞穂地区
社会福祉協議会役員19名の
皆様が、瑞穂デイサービス
センター、須多峰介護セン
ター、外様デイサービスセ
ンターの視察研修に來られ
ました。

各施設での運営や施設の
様子など熱心に聞き入って
おられました。

翌日は、デイサービスセ
ンター夕月の利用者の皆様



施設の説明



きれいなアジサイでした

が、「あじさい」見学に出掛
けました。西廻り線から城
山公園、アクアパークを回
りました。

利用者の皆さんからは、
「今年は時期が遅くて、大
きさは大きくなかったけど
季節のものはいいですね」
などの声が聞かれ、匂いを
嗅いだり、触れたりしながら
楽しいひと時を過ごしま
した。各デイサービスセン
ターでも様々な計画で過ご
していただいています。

第60回社会を明るくする運動

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

飯水地区保護司会では、
例年7月1日を「社会を明
るくする運動」と位置づけ
て飯山市青少年育成市民会
議、飯山市更生保護女性会
との協同で街頭活動を実施
しております。

犯罪や非行の防止と罪を
犯した人たちの更生につい
て理解を深め、それぞれの
立場で力を合わせ、犯罪や
非行のない社会を築こうと
する全国的な運動です。

朝はJR飯山駅前・JR北飯
山駅前・JR戸狩野沢温泉駅
前で行い、夕方は、ベイシ
ンア飯山駅前・デリシア飯山
店前・Aコープみゆき店前
で行いました。

今年で更生保護制度施行
60年を迎えるにあたって、
更生保護の活動について少
しご紹介します。

【保護司】
●全国に約5万人おり、法
務大臣の委嘱を受け、保護
観察官と協力しながら地域
で犯罪や非行をした人の指
導・助言を行い、立ち直りを
支えているボランティアです。

【更生保護女性会】
●全国に約19万人おり、更
生保護施設へのサポート活動
や子育て支援活動など、幅
広い活動を展開し、犯罪や
非行をした人の立ち直りを
支えているボランティアです。

【協力雇用主】
●全国で約8500人おり、
保護観察中の人を前歴にこ
だわらず積極的に雇用する
ことで、その立ち直りに協
力する民間の事業者です。



街頭活動の様子

北部子育て支援センター

親子で『ベビーボックス』

6月18日(金)に、北部子育て
支援センターで、4ヶ月から3歳
までの親子18組が参加して「ベビ
ーボックス」が行われました。

講師として、日本マタニティ
フィットネス協会ベビーボックス認
定インストラクターの小林富美子
先生にお越しいただきました。
ベビーボックスは、「ベビーマッサー
ジ」と「ベビーエクササイズ」か
ら成ります。親子の絆を強め、愛
情と信頼関係を育てる事を目的と
しています。

赤ちゃんの発育段階に応じて無
理のないエクササイズを行い、お
母さんがサポートしてあげること
で赤ちゃん自身の運動発達を促し
ます。

癒しの音楽が流れる中、お母さ
ん達の日頃の子育ての疲れを取る
マッサージから出産後緩くなった
骨盤を締める「骨盤ウォーク」や、
手のひらのツボを押す簡単なマッ
サージを行いました。

次に子どものヨガでは、五感を
刺激して全身の成長を促し、「かわ
いね」と声をかけながら頭から
耳にかけて撫でてあげること
子ども達も不思議な感覚で音を聞



ベビーボックスの様子

き微笑んでいました。
また、喘息の時に胸をさすると
楽になるなどのお話しを聞かせて
頂きました。
最後に、講師の小林先生は、「疲
れている時はマッサージは絶対に
やらないで欲しい。お母さんが笑
顔でマッサージしてあげることが
とても大切です」と体験したお母
さんにおっしゃっていました。
参加したお母さんからは、疲れ
が取れ、我が子に笑顔で接してい
る様子がうかがえました。
とても有意義な時間を過ごす事
ができました。

～社協オリジナル商品～ 一筆箋のご案内

飯山市社会福祉協議会では、『いいやまの四季』
を彩る花をテーマに、一筆箋を作成しました。春夏
秋冬の4種類があります。ちょっとしたお礼文を書く
時に、またお世話になった方への一言メッセージを
季節に合わせて一筆書いてみませんか？

ご購入は、飯山市社会福祉協議会（飯山市福祉セ
ンター）、老人福祉センター湯の入荘でお求め下さい。
価格は1冊250円です。

売上金は、市内の福祉活動のために積み立てられ
ます。



菜の花・あじさい・コスモス・ゆきつばきです

老人福祉センター 『湯の入荘』 運営委員会開催

6月30日午後1時30分から湯の
入荘を会場に湯の入荘運営委員
会が行われました。

運営委員会の中では、平成21年
度事業報告・決算について、平成
22年度事業計画・予算、利用者の
利用状況等について、話し合いが
行われました。

湯の入荘は、昭和53年4月に、
高齢者の心身の健康及び教養の
向上と福祉の増進を図る目的で建
設された施設で、高齢者の憩いの

場として定着しています。昨年は、
皆様方のご協力をいただき施設の
大規模改修を
行いました。

これからも
多くの市民の
皆様にご利用
していただい
ける施設運営を
進めていきたく
と考えていま
す。



運営委員会の様子